光風台小学校だより

平成 26 年(2014 年)12 月冬休み号

二学期終業式

明日からは冬期休業日、クリスマスや年末年始もあり、子どもたちは家族の皆さんと過ごすことを楽しみしていることでしょう。ゆったりとした家族の時間を過ごされるといいですね。

１２月初旬には、個人懇談にご来校くださりありがとうございました。お子さんのことを真ん中に据えて、話をさせていただけたことと思います。光の子も、担任は「こんなことをがんばったよ。もう少しこんなことをがんばろうね。」というメッセージをお示ししました。とかく課題の方ばかりに目が行ってしまいがちになりますが、お子さんががんばったことを褒めていただけたらと思います。がんばったことを認められると、とてもうれしく元気がでます。大切なのは、次へのステップにつながる声掛けです。子どもたちが元気になるための、個人懇談や光の子であってほしいと願います。

子どもたちは、暑い日も寒い日も雨の日も風の強い日も学校に登校し、教室で丸一日椅子に座って授業にのぞみました。毎日、元気に学校に通えたこと、この平凡な積み重ねが尊いことです。「生きていてくれる。ただそれだけでありがたい。」を認め合える、そんな学期末の節目であればと思います。

光小トピックス

来年度の大きな学校行事の変更について

来年度の大きな学校行事について、以下のように行いたいと思います。それに伴う変更等についての補足説明は、次号でさせていただきます。本号では、日程についてのみお知らせいたします。

- 5 月 30 日（土）運動会
- 9 月 10 日（木）～11 日（金）5 年海洋学習
- 10 月 8 日（木）～9 日（金）6 年修学旅行

歯磨きについて

今年度、給食後の歯磨きについて指導をしてきました。子どもたちの歯磨き状況を、二学期末に調べてみました。1 年生から 4 年生（低・中学年）は、学校に歯磨きセットを持ってきて、机の上に出して準備をし、給食後に歯磨きをしている子どもたちがほとんどです。しかし高学年になると、給食後の歯磨きをする児童が減り、学級によってはほとんどしていない状況になっています。

歯磨きは大切な生活習慣の一つです。一度よい習慣が身に着くと、一生の財産になります。冬期休業中にご家庭で過ごす中で、食後の歯磨き習慣の定着にご協力くださると幸いです。詳細は、保健だよりをご覧ください。

学校教育自己診断にご協力くださりありがとうございました

学校教育についてのアンケートのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からの結果と児童のアンケート結果を合わせて、全教職員で受け止め、今後の教育活動や学校運営にいかしていこうと思っております。分析結果は、来学期に報告させていただきます。

学校経営についていただいたご意見の中で、直接お会いしてお話を聞かせていただきたいことについては個別に懇談させていただきました。他にも、学校経営や学校教育について気になることがある方は、いつでもおっしゃってください。お話を聞かせていただきます。よろしくお願いいたします。

第２回学校協議会

学校の運営についての協議いただく第 2 回学校協議会を、12 月 11 日に開きました。今回は「全国学力・学習状況調査」を中心に話し合い、特に「家庭での読書」について協議しました。ゲームやテレビの時間が多かったり、習い事等で忙しかったりする中、家庭で読書する大切さをどう伝え、どう推進していくかだという話がありました。

その他、来年度の学校行事についてや学校の安全についてもご助言いただきました。今後の学校運営に活かしていきたいと思います。

学校の様子

子ども時代に遊んだこと体験したことが、大人になってもその人自身の原体験になります。

地域に出かけたり、体験的に学んだり、出前授業のように聞き取り学習などは、子どもたちの豊かな学びとなることでしょう。机上の学習にとどまらず、子どもたちを地域に連れ出し、本物の人や物に出会わせる、豊能の自然を体で感じる、手作り･手作業にふれ先人の知恵に気付くなどの体験学習を大切にしていきたいと思っています。

今号は、各学年の豊かな体験学習の様子について載せてみました。

その①　3.4年生図工出前授業(12月1日)

3･4年生が、タンザニア（東アフリカ）のムワメディさんに、ティンガティンガアートの出前授業を受けました。ティンガティンガとは、タンザニアの伝統的なアートで、グラデーションを塗った上に描いたキリンの体に、子どもたちはドット模様を工夫して仕上げていきました。ムワメディさんの柔らかいお人柄と笑顔に、子どもたちはたちまちに仲良くなりました。別れ際は、覚えたてのスワヒリ語の「Kwaheri（さようなら）」で挨拶しました。タンザニア、そしてアフリカの方とのふれあいを体で感じた一日でした。コーディネート兼通訳の住谷さんはじめ、安齋･北窓さん、お世話になりました。

その②　6年認知症学習会(12月9日)

6年生が、豊能町認知症キャラバン･メイトの方の出前授業で、認知症についての理解や認知症の方が過ごしやすい町づくりについて学んでいきました。認知症の方たちの気持ちや、自分にできる関わり方（声掛けや接し方）などを考え、ロールプレイを体験しました。6年生は今後、認知症キッズサポーターとして関わってくれることと思います。

豊能町社会福祉協議会の包括支援センターの豊田さんはじめ、民生委員の皆様にお世話になりました。

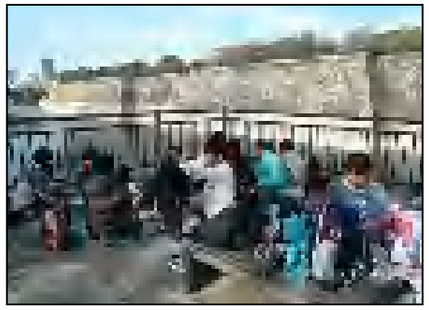
その③　1年生焼き芋パーティ(12月9日)

大きなサツマイモを収穫した時の驚きや喜びを作品展の絵画に表わした1年生が、焼き芋にして食べる日がやってきました。

枯れ木を燃やして灰をつくり、集めた落ち葉をかぶせてると、モクモクと煙が立ち上がっていきます。置き火の中でじっくりとさつまいもを焼きます。その間子どもたちは教室で授業して、再度集まりました。そおっと、灰をどけて取り出した焼き芋は、ふんわりと柔らかい。割ってみると、はちみつ色になっています。「おいしい！」「甘い！」、とろとろの甘～い焼き芋を味わいました。

その④ 5年お握りパーティ＆お礼の会(12月9・11日)

収穫した米でおにぎりパーティーをして、お世話になったサポーターの皆様にお礼の会を催しました。堆肥と鶏糞やもみがら等で土づくりをし、稲木で天日干し、手作業で脱穀をしたコメです。口にすると甘味が広がり、コメ本来の旨みがあり、おいしいおにぎりができました。サポーターの方は、裸足で田んぼに入って代かきや草引きをしてくださったり、シカネットを張ってくださったり、稲木がわらがもみがらを持ってきてくださり、コーディネートや取材をしてくださった方々です。この日に参加された方も、当日来られなかった方も、たくさんの皆様にお世話になってコメ作りをすることができました。ありがとうございました。



その⑤　5年社会見学(12月10日)

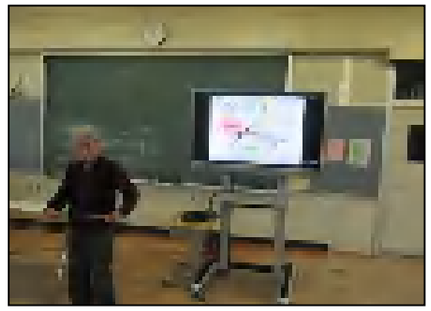
午前中は大阪市内の造幣局博物館で、明治維新の近代化を支え現在に至る造幣局の歴史や、豊臣時代･江戸時代や大昔の貨幣の展示も見学しました。

大阪城公園で昼食後、午後は池田市のダイハツ工場見学。工場内では、ベルトコンベアーで車が移動する中、タイヤを取り付けたりドアをはめたりエンジンを設置したり、流れ作業で車の生産工程が進んでいました。事故防止･安全第一と環境問題にも取り組んでいて、工業の先端技術を目の当たりにしました。

その⑥　3年豊能の農業を学ぶ(12月11日)

吉川の向井さんに豊能の農業や地域について学びました。100 年前頃からの豊能（特に西地区）の農業について話されました。コメ作りを中心に、牛で田んぼを鋤いて耕したこと、そのため牛はとても大切にされ家の中で飼われていたこと、田植え･稲刈り･脱穀･精米の手作業の過程なども教えてくださいました。

自分が生まれ育ったところが故郷であり、大人になって思い出す原風景であるこの山や川をしっかり目に焼き付けてほしいと語られました。光風台･ときわ台･吉川が、妙見山や高代寺や初谷川を「わたしのふるさと」としてとらえ、川で遊んだり、山を歩いたり、野にふれたりしてほしいと話されました。



その⑦　4年豊能の地域を学ぶ(12月11日)

4 年生も「わたしのふるさと」のテーマで、向井さんにお話を聞きました。昔は光風台の人も吉川小学校に通っていたこと、ときわ台･光風台･東ときわ台･新光風台は山だったこと、住宅地が増えそれぞれに小学校が建っていったことなど、豊能町西地区の歴史について話されました。

後半は、今年の 8 月に「水辺の楽校 in 初谷川」で初谷川の水質調査（吉川自治会･池田土木事務所主催）の結果からわかることを話されました。4 年生の中には、この企画に参加した児童もいました。見つかった水生生物のオオヤマカワゲラ･ヤマトトビゲラ･ヘビトンボ等は、きれいな川に生息する生物です。初谷川の水質は階級1のきれいな川と判断することができました。そんなきれいな初谷川は、みんなのふるさととして大切にしてほしい･遊びに来てほしいと話されていました。

その⑧　2年ダイコン鍋パーティ(12月12日)

8 月中旬にダイコンの種で苗を育て、9 月初旬に苗植えをし、水やり草引きや観察をして、2 年生は畑でダイコンを育ててきました。秋を越え、ダイコンの首が畑のうね土の上に顔をみせると、「うわー、大きい！」と収穫を楽しみにしていました。冬になり、長さ 50cm太さ直径 10cnほどに大きく太くなりました。かじってみると、甘くておいしいのです。落ち葉や枯れ草の堆肥、鶏糞、木灰だけで育てたダイコンが、本来の甘みをもっているのでした。

途中でダイコンが折れないように、「よいしょ！　どっこいしょ！」と注意して抜きました。その大きさと重さに感嘆の声が。その後、薪で煮込んだ大鍋のダイコンを味わいました。甘みのあるダイコンは味噌と合い、深みのある味わいに、「ダイコンのお代りちょうだい！」の声がとんでいました。